



あいさつする佐々木社長  
(左から3人目)

日清製粉グループ本社が「神戸日清製粉は、パティシエをスウィーツ・コンソーシア目指す障がいのある人を支ム」(KSC)に今年も協力、パティシエ養成スクール「チャレンジド・プログラムVol.3」の「開講式」(第1回講習会)を5月15日、東京・中央区の同社小網町加工技術センターで

### 日清製粉

## 「チャレンジド・プログラム」に協力 パティシエ目指す障がいのある人を支援

開催、受講生や講師、来賓ら約120人が参加した。

開講式では、開催趣旨説明のあと、講師6人を紹介。農水省、厚労省、兵庫県、神戸市や協力企業からの来賓あいさつに続き、受講生(チャレンジド)8人を紹介した。

引き続き、第1回講習会を実施。フランス菓子店「リエット」の永井紀之シエフの担当で、フィナン

迎え、年々盛んになっていく。一つの目的のため、業域を超えたメンバーがパートナーシップを組み、各人が協力しあい、世界的なパティシエの皆さまにも支えられながら、素晴らしい取り組みになっている。当社として今後も側面から協力

したい」と話した。講習会の模様が今年からインターネットを通じ同時動画配信されることから、関係省庁を代表して原口一博総務大臣も来場。皆さまの活動がライブ中継され、この場に來られない人たちにも見てもらえるようにな

った。大変、素晴らしいこととで、総務省としても、15年までに一層、多くの皆さまに映像が届くよう、インフラを整えていきたい」と話した。

講習会は今年、計8回の開催を予定している。